

パブリックコメントの結果と対応

パブリックコメント結果(募集期間:平成19年2月24日～平成19年3月5日、募集結果:5名6件)

パブリックコメント		対 応
全般	10年間で広島湾の環境保全・再生が推進されるのでしょうか?今後長期的にフォローアップが必要なのではないのでしょうか?	<p>・ご意見の通り、広島湾再生のためには長期的な取り組みが必要と考えており、10年後以降も引き続き必要な施策を実施していく予定です。行動計画の目的において、長期的な施策等の実施に関する記述を追加しました。</p> <p>(行動計画 p.2 に反映)</p>
全般	<p>私の住む広島湾北部は大阪湾や東京湾より容積あたりの負荷量が多いのにまず驚きました。確かに海の近くはお世辞にもきれいな海とは言えません。</p> <p>われわれの日常生活において負荷量を減らす努力は無論ですが、山は海にとっても大切であることがもっとアピールできれば市民活動等も盛り上がるのではないのでしょうか。</p> <p>広島湾の現状は、長年かけて人がつくってきたものです。これをわずか10年の計画で一朝一夕に片付けられるとも思えません。これから人口も減り財政も厳しくなる中、やはり行政や漁業関係者、市民が連携した息の長い取り組みが必要ではないのでしょうか。</p>	<p>・ご意見の通り、負荷量を削減するためには森・川・海の連携が重要と考えており、市民連携による環境教育、普及啓発活動や様々な活動・施策に関する情報の共有化・発信を通して、森・川・海の連携の重要性を広くアピールしていきます。</p> <p>・ご意見の通り、広島湾再生のためには長期的な取り組みが必要と考えており、10年後以降も引き続き必要な施策を実施していく予定です。行動計画の目的において、長期的な施策等の実施に関する記述を追加しました。</p> <p>(行動計画 p.2 に反映)</p>
全般	<p>計画案を拝見すると、再生会議と地元住民、NPOとのつながりが強調されているように見受けられます。</p> <p>しかしながら、広島湾内の護岸線は老朽化が進んでおり、民間企業が使用する護岸の補修・リニューアル工事が増加しているのも事実です。</p> <p>そこで、我々は、現在の計画案に追加して、民間の護岸補修に際して環境配慮もしくは生物共生型護岸への改修の推進、企業との協働についてご提案します。</p> <p>民間の護岸補修は急務であり、この機会を逃せば、民間企業は再び無機質な直立護岸が数十年続くこととなります。逆にこの機会を利用すれば、短期間に少しずつではありますが、生物共生型護岸を増加させることが可能です。</p> <p>ぜひご検討いただければと思います。</p>	<p>・4.1 (2) 生物生息・生産の場の保全・再生に関する施策では、生物の生息場の創出等を考慮した材質、形状を持つ護岸の整備を推進することとしており、ご意見を踏まえ、民有護岸に対しても、環境配慮の実施について啓発を行います。</p> <p>(行動計画 p.34 に反映)</p>
4.1 森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を再生するために (1) 水環境の再生	<p>閉鎖性海域で一番の問題先は海田湾と考えています。海田湾の早急な調査と海底汚泥対策が必要と考えます。</p> <p>産業総合技術研究所中国センターで各プランクトンの情報などお持ちとお聞きしていますので、研究員の方にご参加いただきご検討いただければと思います。</p> <p>一市民としてコストのかからない効率的改善と持続可能な施策をお願いいたします。</p>	<p>・海田湾でのパイロット事業による新たな底質改善技術の開発などの実験的な取り組みについて、学識経験者等との連携により進めていく予定です。</p> <p>(行動計画 p.48 に反映)</p>

パブリックコメント		対 応
<p>4.3 多様な主体の連携により、宮島などの良質な環境を保全・再生し、美しい広島湾を次世代へ継承するために</p> <p>(2)ごみ発生量の抑制及びごみの回収・処理</p>	<p>海ごみ問題について一言申し上げます。海ごみといっても漂流ごみ・漂着ごみ・海底ごみなどいろいろあると思います。</p> <p>現在、様々な機関や活動団体によって清掃活動や研究がされているところと思います。</p> <p>しかし、海ごみの中には漁業ごみも多分に含まれると思いますので、是非、漁業関係者の方にも広島湾再生へ向けて協力を得てはいかでしょうか。ご検討をお願いいたします。</p>	<p>・海底にたまったごみを底引き網で回収する活動等、これまでも漁業関係者等による様々な取り組みが行われています。</p> <p>様々な主体の連携による海ごみの回収については、「瀬戸内海海ごみ対策検討会(環境省中国四国地方環境事務所)」で検討することとしており、本行動計画でも検討会との連携を図りつつ、海ごみに関する取り組みを推進していく予定です。</p> <p>(行動計画 p.48 に反映)</p>
	<p>河川、河口、海域で多発する散乱ごみ対策の一元化、データベース化が明記されていないのが気になりました。美化運動もよいのですが 町内会、連合町内会の年数回の一斉清掃にて河川、河口の清掃の協力をしていただければ一般市民にも広がるのではと感じました。</p> <p>美化運動を河川周辺町内会と連動した清掃活動にして行く時期にきているのではと感じています。</p>	<p>・ごみ対策のデータベース化については、「リフレッシュ瀬戸内」などで行っており、本行動計画ではこれらとの連携を図りつつ、データベース化等の検討を進めていく予定です。</p> <p>・町内会等との連携による清掃美化活動については、取り組みを実施しており、今後、これらの取り組みをさらに推進していく予定です。</p> <p>(行動計画 p.40 に反映)</p>